

## 極限への挑戦

昔、梅林で絵を描いていると、知り合いのお年寄りがこの画面に1万個の花を描いてみてはどうかと言ってきた。私はその当時まだ若く花が咲きだすと、あの花も描きたいこの花もと目移りがして、そんな悠長な気持ちになれなかった。しかし、その言葉が気になり、あえて挑戦することにした。今考えると描きあげるのに、確かな日数は覚えていないが、かなりの日数がかかり、もう二度と挑戦しまいと思った。ところが、来シーズンになって、思い出し、懐かしくなり、再挑戦した。以前の様な苦しみはなく、むしろ快感に変わっていった。私はその時、自己の極限を体験することによって、あとで楽になる人生訓を得た。今年の出品する作品は120号のキャンパスに画面いっぱいにカスミ桜を描くことに挑戦し、ボールペンで一輪一輪描きこんだ。始めの書き出しは気の遠くなるような状況で、果たしてやり遂げる事が出来るのか不安がよぎり、苦痛が伴った。しかし、半年後、それが快感となり、喜びに変わっていき自己の極限を体感した作品となった。どう評価されるかは分かりませんが、私なりの目標でもあり、挑戦でもあったような気がします。